

さきやま ろうそくいわ 崎山の蝋燭岩

- ◇ 指定日 昭和14年9月7日
- ◇ 所在地 崎鋤ヶ崎
- ◇ 所有者 個人

蝋燭岩は崎山地区の^{おおさわ}大沢漁港の東北東約300mの海岸にあります。高さが約40mもあり、下から見上げるとまるで蝋燭のように見えることから蝋燭岩といわれています。

中生代白亜紀頃に噴出した酸性火山岩の中に^{りゅうもんがん がんみやく}流紋岩が岩脈として貫入したもので、その岩脈部分だけが露出して残ったものです。

正面から見ると、水平方向に平行する節理面が詳細に観察することができます。周辺の岩が侵食され柱状に残った岩脈全体が観察できる事例はとても珍しく、学術上貴重な資料となっています。

なお、地上からの観察は出来ませんが、洋上（遊覧船など）からその姿を見ることができます。



蝋燭岩遠景（写真提供 宮古市産業振興部 観光課）

高さ 40m	厚さ 下部で3m	上部で7m
--------	----------	-------